

仕 様 書 B

工科短期大学校

項 目	内 容		
コ ー ス 番 号	N K - O 4		
訓 練 種 類	知識等習得コース(デジタル分野特例)Web デザイン		
訓 練 科 名	I T ・ W e b 科 (仮)		
訓 練 期 間	3 か 月 (20, 21, 18 = 59 日)		
定 員	15 名		
訓 練 実 施 地 区	上田公共職業安定所管内		
募 集 時 期	令和5年7月21日(金)～令和5年9月19日(火)	選考日	令和5年9月29日(金)
実 施 時 期	令和5年10月13日(金)～令和6年1月12日(金)		
受 講 対 象 者	パソコン中級者以上で、対象となる求職者。		
訓 練 目 標	パソコン中級者以上を対象に、I T 理解とW e b デザイン、オンラインによる業務処理等といったデジタル化に関連する知識や仕組みを学んだ上で、W E B クリエイター能力認定(エキスパート)等の資格を取得して企業のデジタル業務を推進できる人材として、早期就職を目指す。		
目 標 資 格	W E B クリエイター能力認定(エキスパート) 受託希望機関が他の関連資格を組み込むことも可とするが、受験は受講生の任意とする。		
訓 練 内 容	訓練目標、目標資格を満たし、就職に繋がる効果的な内容とする。		
訓 練 時 間	訓練実施日および時間は仕様書 A (共通事項) の 5 (3)、総訓練設定時間および訓練期間は仕様書 A (知識等習得コース) によること。 その他の休日を設ける場合は、工科短期大学校と協議すること。		
特 記 事 項	<p>1. コースの仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ●訓練科名は、求職者を引き付ける、魅力ある名称とすること。 ●就労に際し求められるビジネスマナー及びコミュニケーション能力向上のための演習をカリキュラムに入れること。 ●目標資格の難易度や実用性について、受講生が理解できるよう伝え、目標意識や達成感を感じることができるよう指導すること。 <p>2. その他の委託条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「デジタル訓練促進費及びデジタル職場」実習推進費の対象コースである。支払いを受けるには、仕様書 A (知識等習得コース) の 2 (4) ⑤及び 2 (5) ⑤に定める所定様式で所定期日までに工科短期大学校へ報告のこと。 ●訓練期間終了時に修了に値すると認められないような状況が予測される受講生について、当該受講生を補講により修了させることが出来る場合は、原則として補講を実施すること。 ●委託費等の支払条件及び上限金額については、全て仕様書 A を参照のこと。 ●支援指示の受講生がある場合の公共職業安定所(ハローワーク)指定来所日として「訓練時間の短い日」を1か月経過毎に設けるよう設定すること。設定するに当たっては事前にハローワークと相談のうえで取り決め、また設定した日を受講生に周知すること。 ●訓練修了後1か月及び3か月までの期間について受講生の就職状況を調査し、工科短期大学校に報告すること。特に、修了後3か月までの調査により把握した就職者については、就職先自筆の証拠書類が必要となることを受講生に周知し、各書類に未回収がないよう努めること。 		

仕 様 書 B

工科短期大学校

項 目	内 容		
コ ー ス 番 号	NK-05		
訓 練 種 類	知識等習得コース		
訓 練 科 名	パソコン基礎+オンライン科（仮）		
訓 練 期 間	3か月 （ 21, 17, 21 = 59 日 ）		
定 員	20 名		
訓 練 実 施 地 区	上田公共職業安定所管内		
募 集 時 期	令和5年8月21日(月)～令和5年10月19日(木)	選考日	令和5年10月31日(火)
実 施 時 期	令和5年11月14日(火)～令和6年2月13日(火)		
受 講 対 象 者	パソコン初・中級者で、対象となる求職者。		
訓 練 目 標	パソコン初級者を対象に、パソコン及びアプリケーションソフトの基礎知識を学び、日商 PC 検定3級と同等資格の取得を目指す。さらに、Zoom やプレゼンテーション等の実習を積み、早期就職を目指す。		
目 標 資 格	日商 PC 検定3級（文書作成、データ活用）と同等資格及びその他就職に有利な資格。ただし、受験は受講生の任意とする。		
訓 練 内 容	訓練目標、目標資格を満たし、就職に繋がる効果的な内容とする。		
訓 練 時 間	訓練実施日および時間は仕様書 A（共通事項）の5（3）、総訓練設定時間および訓練期間は仕様書 A（知識等習得コース）によること。 その他の休日を設ける場合は、工科短期大学校と協議すること。		
特 記 事 項	<p>1 コースの仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ●訓練科名は、求職者を引き付ける、魅力ある名称とすること。 ●就労に際し求められるビジネスマナー及びコミュニケーション能力向上のための演習をカリキュラムに入れること。 ●目標資格の難易度や実用性について、受講生が理解できるよう伝え、目標意識や達成感を感じることができるよう指導すること。 <p>2 その他の委託条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●訓練期間終了時に修了に値すると認められないような状況が予測される受講生について、当該受講生を補講により修了させることが出来る場合は、原則として補講を実施すること。 ●委託費等の支払条件及び上限金額については、全て仕様書 A を参照のこと。 ●支援指示の受講生がある場合の公共職業安定所（ハローワーク）指定来所日として「訓練時間の短い日」を1か月経過毎に設けるよう設定すること。設定するに当たっては事前にハローワークと相談のうえで取り決め、また設定した日を受講生に周知すること。 ●訓練修了後1か月及び3か月までの期間について受講生の就職状況を調査し、工科短期大学校に報告すること。特に、修了後3か月までの調査により把握した就職者については、就職先自筆の証拠書類が必要となることを受講生に周知し、各書類に未回収がないよう努めること。 		

仕 様 書 B

工科短期大学校

項 目	内 容		
コ ー ス 番 号	NK-06		
訓 練 種 類	知識等習得コース		
訓 練 科 名	介護職員養成科（仮）		
訓 練 期 間	3か月 （ 16, 22, 20 = 58 日 ）		
定 員	15 名		
訓 練 実 施 地 区	上田公共職業安定所管内		
募 集 時 期	令和5年9月22日(金)～令和5年11月21日(火)	選考日	令和5年12月4日（月）
実 施 時 期	令和5年12月15日(金)～令和6年3月14日（木）		
受 講 対 象 者	介護・福祉分野への就職を希望する、対象となる求職者		
訓 練 目 標	介護職員に必須の知識・技能・技術等を習得し、介護・福祉分野で早期就職を目指す。		
目 標 資 格	介護職員初任者研修課程修了資格		
訓 練 内 容	訓練目標、目標資格を満たし、就職に繋がる効果的な内容とする。		
訓 練 時 間	訓練実施日および時間は仕様書A（共通事項）の5（3）、総訓練設定時間および訓練期間は仕様書A（知識等習得コース）によること。 その他の休日を設ける場合は、工科短期大学校と協議すること。		
特 記 事 項	<p>1 コースの仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ●訓練科名は、求職者を引き付ける、魅力ある名称とすること。 ●「長野県介護職員養成研修指定要綱」及び「長野県介護職員養成研修指定基準」に基づく指定を受けたカリキュラム以外は、訓練目標を満たす内容及び介護従事者としてのやりがいや責任感等を伝える内容とすること。 ●就労に際し求められるビジネスマナー及びコミュニケーション能力向上のための演習をカリキュラムに入れること。 ●目標資格の難易度や実用性について、受講生が理解できるよう伝え、目標意識や達成感を感じることができるよう指導すること。 <p>2 その他の委託条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●実施公告6（2）⑦に記載の手続を行うこと。 ●訓練期間終了時に修了に値すると認められないような状況が予測される受講生について、当該受講生を補講により修了させることが出来る場合は、原則として補講を実施すること。 ●委託費等の支払条件及び上限金額については、全て仕様書Aを参照のこと。 ●支援指示の受講生がある場合の公共職業安定所（ハローワーク）指定来所日として「訓練時間の短い日」を1か月経過毎に設けるよう設定すること。設定するに当たっては事前にハローワークと相談のうえで取り決め、また設定した日を受講生に周知すること。 ●訓練修了後1か月及び3か月までの期間について受講生の就職状況を調査し、工科短期大学校に報告すること。特に、修了後3か月までの調査により把握した就職者については、就職先自筆の証拠書類が必要となることを受講生に周知し、各書類に未回収がないよう努めること。 		